神中しーぶん

平成27年
2月25日

神原中
不定期52号

小中合同研修会!!

～神原中校区小中一貫教育の取組～

去る二月二〇日(金)小中一貫研修室にて、平成二十六年度の第五回小中合同研修会を行いました。

研修会では、各部の部長による今年度の活動内容と成果・課題等についての報告がありました。

交流部会では、「小中合同授業参観」「部活動体験」「校内合唱コンクールへの参加」「小中特別支援学級の交流会」について報告がありました。成果として、各体験活動を通して中学校への不安が解消し、中学校生活への期待と関心が高まったとのことです。

生徒指導部会では、「合同情報交換会」「異学年交流」「合同あいさつ運動」について報告しています。成果として、学校の様子など様々な情報を交換し、生徒指導に活用できた。児童生徒の学習に取り組む姿勢に変化が見られた。

研究部会では、「ノート指導の工夫」「合同研修会の実施」「合同授業研究会」「独自チェックテストの作成と実施」「小六対象の春休みの宿題の作成」について報告がありました。成果として、学力向上に関わる児童生徒の共通課題の共有ができた。各教科における「書くこと」への意識づけと授業実践ができた。

コーディネーターからは、次年度へ向けての組織の変更や学習規律の見直しによる「黙想」の導入、部活動における仮入部の拡大等について提案がありました。

3月の行事!!

2日　安全点検日
5日　学校保健委員会
6日　次年度準備全体会
9日　受験場確認(3年)
10日　二年到達度追加調査
　　高校受験(国・理・英)
11日　高校受験(社・数・面)
　　卒業式前々日準備
　　夜間街頭指導
12日　卒業式前日準備
　　夜間街頭指導
13日　第54回卒業式
　　街頭指導
16日　職員会議
17日　高校一般合格発表
　　学年朝会
18日　二次募集受付～19日
20日　二次募集志願変更出願
23日　学年会
24日　大清掃　小学校卒業式
25日　修了式・離任式
26日　高校2次募集合格発表

一年進路学習会!

去る二月二十三日(月)五校時に、一年生を対象に進路学習会を行いました。推薦合格内定を得た先輩の話しを聞いて自分自身の進路を考える機会になります。

三年生の話の前には、進路担当の田重子先生からの話があり、「あと二年間しかありません。その二年間をどのように過ごしていくかによって、皆さんの将来が決まってきます。高校へ行く事が全てということではありません。自分の進路を決めないといけない期限が二年間と言う事です。先輩達の話しを聞いて参考にしてください。」と述べています。次に先輩達の話の一部分を紹介します。

☆新垣綾映☆

①学校を休まない。②定期テストの時は、必ず目標点を設定する。③学校の勉強以外の事にも真剣に取り組む。推薦を受けるときには、自分の特技やこれまでの実績を見つめ直し、自分の武器を見つけ出す事が大切で、三年間それに向けて努力する事が必要だと思います。

☆島袋夏鈴☆

①当たり前にやるべき事を当たり前にやる。それは遅刻や身なり違反等をしないという事です。②テストでよい点数をとる。そのために、苦手教科を克服する事から始めました。③資格取得に挑戦する事です。検定など自信のない人は、まずは易しいところから始めることです。

☆山城卓巳☆

①毎日の授業態度を心がける。二年生の時に中だるみになって授業態度がおろそかになり、内申点が落ち三年になって苦労しました。②部活や検定など真面目に取り組む。頑張った事が自分の武器になる。②自分自身の目標を見つける事です。自分の行きたくない高校を選んで後悔するよりも、今から努力をして自分の選択肢を増やしてください。あと二年間気を引き締めて頑張ってください。

☆中島美結☆

①内申点を上げる為に、先生の話を真面目に聞く事と、ちゃんと期限内に提出物を出す事。テストだけでは内申は上がりません。②資格を取る事です。三年間というのはあっという間に終わってしまい、すぐ受検は目の前にやってきます。

<左下より続く>

今からでも間に合います。努力すれば必ず報われます。

☆山城力斗☆

①授業態度です。②提出物をしっかり出す事です。これは普通の事ですが、とても大切な事です。提出物をしっかり出せば、テストで失敗しても内申はそこまで悪くはなりません。③検定など、三級以上を取得する事です。少し欲を言えば準二級以上を取ると推薦合格内定を勝ち取り易くなると思います。

☆湯山礼実☆

①身なりや授業態度、遅刻、欠席等の生活面をきちんとする事です。②テストや提出物です。テストの結果は大事ですが、提出物である程度フォローする事ができます。③検定や部活動、校外活動等の実績づくりが大切です。三級以上や大会等の参加も加点になるので、積極的に取り組んで見てください。